



花き生産情報第2号

令和元年5月20日発表
青森県「攻めの農林水産業」推進本部

施設内の温度変化が激しい時期です。適正な温度管理により高品質な花きの生産に努めましょう。

土壌診断に基づいた施肥設計で、バランスの良い土づくりに努めましょう。

夏秋ギク

1 生育状況

4月定植の生育はおおむね順調である。

一部で白さび病の発生が見られるが、全般に病害虫の発生は少ない。

表1 定植月日

場 所	年 次	品 種	定植月日	栽植本数	仕立て方法
新 郷 村	本 年	精の一世	4月14日	3,700本/a	1本仕立て
	前 年	精の一世	4月18日	3,999本/a	1本仕立て
	平 年	精の一世	4月18日	3,815本/a	1本仕立て
五所川原市	本 年	岩の白扇	4月15日	4,400本/a	2本仕立て
	前 年	岩の白扇	4月6日	4,400本/a	2本仕立て

(注) 平年値：新郷村は平成26～30年の平均値

五所川原市は昨年から調査場所の変更によりなし

定植月日：新郷村は直挿し、五所川原市は挿し苗の定植

2 今後の作業

(1) 芽かき

頂芽の花芽ができて5～7日経過するとわき芽が伸びてくるので、切り花品質向上のため小さいうちにかき取る。

(2) 温度管理

花芽分化を安定させるため、日中25℃、夜間15℃を目標に管理する。

(3) 病害虫防除

白さび病やアブラムシ類、アザミウマ類、ハモグリバエ類が多発する時期なので、過湿や多肥を避け、早期発見・早期防除に努める。

秋 ギ ク

1 今後の作業

(1) 苗の養成

採穂に当たっては、太さが揃い充実したものを選択し、長さ5cm程度に調整して、2cm×2cm程度の間隔でさし芽を行う。

(2) 定植床の準備

- ア 10月出荷の作型は、6月上旬～下旬に定植できるように、計画的に作業を進める。
- イ 土壌pHの矯正及び基肥の施用は定植2週間前までに行い、土に十分なじませておく。
- ウ 初期の水分不足は、生育の遅れを招くので、定植の数日前に十分かん水しておく。

(3) 定植

- ア 苗は、1～2cm程度発根したものを定植する。
- イ 定植した後に、軽くかん水して活着を促進する。

(4) 定植後の温度管理

日中は25℃以上にならないように管理する。

トルコギキョウ

1 生育状況

春定植栽培の生育はおおむね順調である。

一部で立枯性病害の発生が見られるが、全般に病害虫の発生は少ない。

表2 定植月日

場所	年次	品種	は種日	定植月日	栽植本数
青森市	本年	北斗星	1月16日	3月30日	3,333本/a
	前年	はるか	2月1日	4月11日	3,333本/a
田舎館村	本年	セブピンク	2月25日	4月24日	2,870本/a
	前年	セブピンク	2月24日	4月26日	2,940本/a
	平年	セブピンク	2月21日	4月20日	2,794本/a

(注) 青森市の平年値：本年から品種が変更されたため、平年値なし
田舎館村の平年値：平成25～30年の平均値

2 今後の作業

(1) 定植

ア 老化苗は生育が劣るので、展開葉4枚までの苗を定植する。

イ 定植の際は深植えとせず、株元を強く押さえないようにする。定植後は、苗と土をなじませる程度に軽くかん水する。

ウ 9～10月出荷の作型は6月下旬頃までに定植する。

(2) かん水

発らいまでは乾燥させないように適宜かん水する。

(3) 温度管理

気温が25℃以上になると生育の停滞やロゼットの要因となるので、換気等による温度管理を徹底する。

(4) 追肥

生育の状況を見ながら、発らい期頃までに液肥で追肥を行う。

(5) 病害虫防除

立枯性病害は、多肥や過湿の条件で発生しやすいので、施肥、換気、かん水などの管理を適正に行うとともに、病気の蔓延を防ぐため発病株の抜き取り処分を徹底する。

土づくり

施設栽培のほ場では、肥料成分の過剰蓄積が見られるため、ほ場の準備に当たっては、土壌診断に基づき減肥するなど適正な施肥を行う。

花き生産指導情報第3号は令和元年6月20日発行の予定です。

◎決め手は土づくり！ 日本一健康な土づくり運動展開中！

- ◎農薬の使用に当たって、
- 農薬は適正に使用しましょう。
 - 農薬の飛散を防止しましょう。
 - 農薬は使い切り、河川等へ絶対捨てないようにしましょう。
 - クロルピクリン剤など土壌くん蒸剤を使用する際は、必ずポリエチレンフィルム等（厚さ0.03mm以上または難透過性の資材）で被覆してください。
 - 市販されている除草剤には、農作物等の栽培管理に使用できない「非農耕地専用除草剤」があるので御注意ください。
 - 農薬情報 (http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/)
 - 農薬登録情報提供システム
 - 【詳細検索】 (<http://www.acis.famic.go.jp/search/vtllp301.jsp>)
 - 【作物名検索】 (<http://www.acis.famic.go.jp/search/vtllp101.jsp>)

◎春の農作業安全運動を展開中です（4月1日～5月31日）

例年、4～5月は、農作業事故が多くなる時期となっています。
体調やまわりの状況を確認し、安全な農作業に努めましょう。

- 1 慣れた作業でも油断せず、注意して行いましょう。
- 2 必ず、作業の合間に十分な休憩を取りましょう。
- 3 自分を過信しすぎず、無理のない作業を行いましょう。
- 4 一人での作業は避け、やむを得ず一人で作業を行う場合は、家族に作業場所を伝え、携帯電話を持ちましょう。
- 5 家族や周りの人など、地域全体で注意を呼びかけましょう。

◎農業保険（農業共済及び収入保険）への加入について

自分にあったセーフティネットに加入し、農業経営に万全の備えをしましょう。

- 1 農業共済
「農業共済」は、自然災害等により農作物・家畜・園芸施設に損害が生じた場合に補償される制度です。
- 2 農業経営収入保険
今年から始まった「農業経営収入保険」は、自然災害に加え、農産物の価格低下などにより販売収入が減少した場合に補償される制度です。加入には、青色申告の実績が条件となっています。
※詳しくは、お近くの農業共済組合にお問い合わせください。

連絡先	農産園芸課野菜・畑作物振興グループ
県庁内線	5076
直通	017-734-9485
